

平成30年度JA自己改革に関する
組合員アンケート
集計結果を公表します！

平成30年11月から平成31年2月まで自己改革に関する組合員アンケートを正組合員世帯6,447軒・准組合員世帯1,000軒に対して実施し、集計結果が出ましたのでご報告いたします。
ご協力いただいた組合員の皆様ありがとうございました。

アンケート回答数

4,993

正組合員 4,231
准組合員 762

自己改革とは？

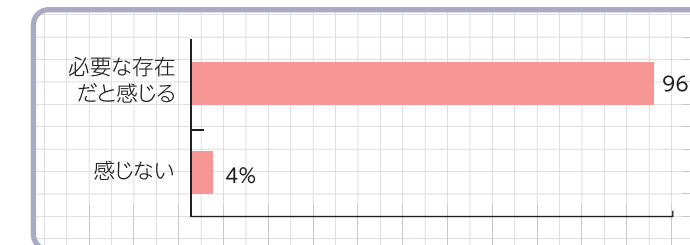
組合員の営農や暮らし、地域農業の課題やJA経営の課題を組合員の皆様とともに解決し、「なくてはならないJA」を目指していく取り組みです。JAあいち尾東では、これからも組合員のため、地域の皆様のためにJAの役割を一層発揮するとともに、組合員・地域の皆様から「必要不可欠な存在」となるよう自己改革に取り組んでまいります。

自己改革の取り組み内容はホームページでもご覧いただけます。



JAの必要性について(正・准組合員が回答)

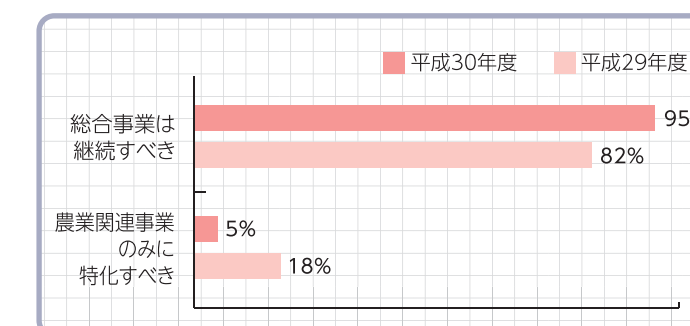
Q JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だと感じになりますか？



正・准組合員の96%がJAは地域農業や暮らしにとって必要な存在であると回答いただき、大多数の組合員からJAの存在の重要性についてご理解いただいています。

JAの総合事業の継続について(正・准組合員が回答)

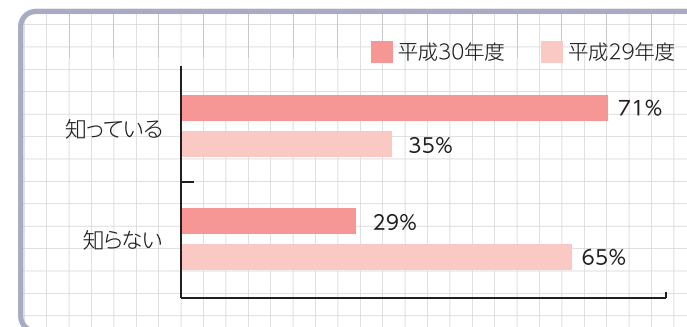
Q JAは農業関連事業や、信用事業・共済事業など様々な事業を行っています。このJAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？



正・准組合員の95%がJAの総合事業を「継続すべき」と高い割合の回答をいただきました。また平成29年度と比較し総合事業について「継続すべき」と回答する組合員の割合は向上しています。

自己改革の認知度について(正・准組合員が回答)

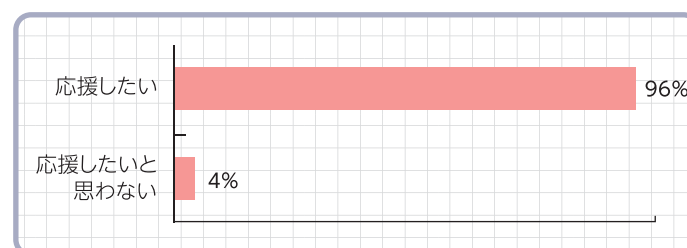
Q 当JAは自己改革に取り組んでいます。ご存知ですか？



平成29年度と比較し、自己改革の認知度について「知っている」と回答した組合員が大幅に増加しました。組合員周知運動をはじめとする組合員に対する当JAの自己改革周知の取り組みが、結果につながったのではないかと考えております。

准組合員の農業応援意思について(准組合員のみが回答)

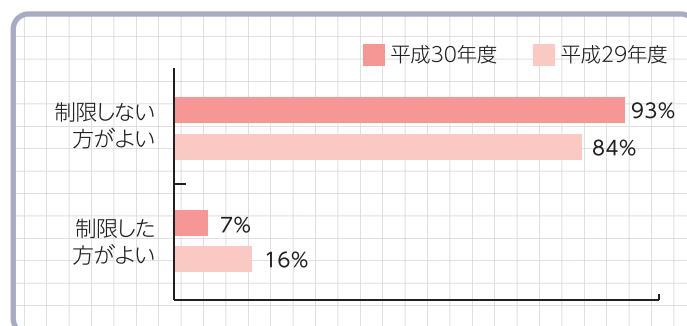
Q JAの事業を利用したり、地域の農畜産物を食べることに、農業体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いますか？



回答いただいた准組合員の96%は農業を応援したいと回答しており、准組合員の応援意思が確認できる結果となりました。

准組合員の事業利用に対する組合員の意識について(正・准組合員が回答)

Q 准組合員のJA事業の利用を制限されることについてどうお考えですか？



回答いただいた組合員の93%が「これまでと同様、事業の利用は制限しない方がよい」と回答しました。これらの結果により、大多数の組合員が准組合員の利用規制を望んでいないことがわかりました。

組合員の皆様からいただいた評価を真摯に受け止め、より一層組合員の期待に応え魅力ある地域農業や暮らしを支えるJAを目指してまいります。

